



令和3年度 決算 審査

決算特別委員会 で審査

令和4年第3回定例会は9月1日に開会し、27日までの27日間の日程で開かれました。深谷市議会では、決算認定関連議案を決算特別委員会へ付託し、委員会で集中審査を行っています。

令和3年度決算については、小嶋議長、議員選出監査委員の富田議員を除く22名の議員で構成される決算特別委員会で審査しました。

決算審査はなぜ
9月議会なの

決算までの流れ

●年度末会計年度
(3月末日終了)

●出納の閉鎖
会計年度終了日から5月31日までの間、決算年度に係わる現金の未収、未払いの整理を行う期間(出納整理期間)が設けられる。

●決算の調整
出納の閉鎖後、会計管理者は決算書及び付属書類(歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書)を作成し、市長に提出する。

●監査委員の決算審査
市長は決算書及び付属書類を監査委員の審査に付す。監査委員は決算審査を行い、意見書を作成する。

●議会提出(9月議会)
市長は提出議案として市議会に提出する。

(地方自治法233条)
議会は決算特別委員会に付託し、審査を行う。

財政状況は良好

ー主なポイントー

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応として、その時々状況に応じ迅速な対策に努めるとともに、大河ドラマ館をはじめとした渋沢栄一翁関連の取組や花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトの推進など、本市の持続的な発展のための取組を着実に実施し、併せて公立幼稚園のサービス向上や自校式給食による食育の推進、各学校への支援員の拡充など将来を担う子ども達のための取組を推進しました。

事業の財源としては、国、県の補助金等や合併特例債等の有利な地方債を活用し、市債残高については、合併特例債等を活用した大規模建設事業の進捗に伴い増加しましたが、令和元年度の新市建設計画の変更時に示した残高の範囲内で推移しており、健全化判断比率である将来負担比率についても良好な状況を維持しています。

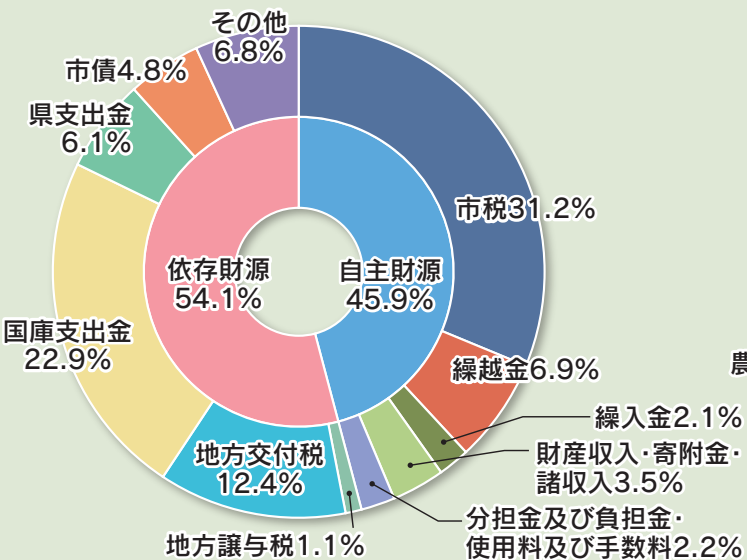
財政指標

ー主なポイントー

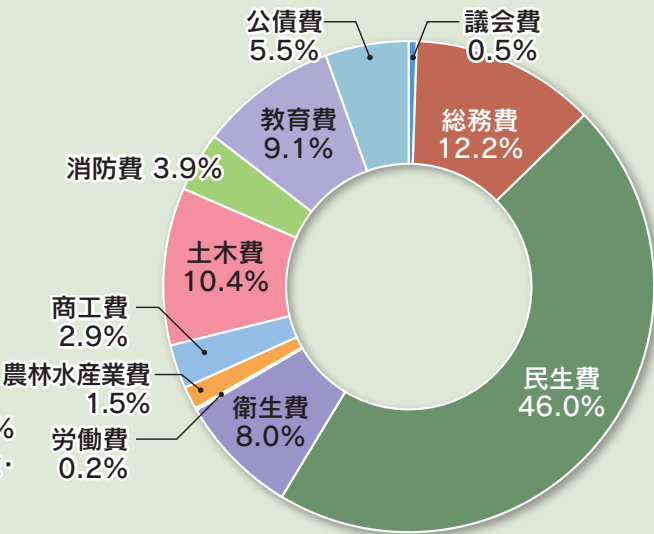
財政力指数 0.747 経常収支比率 82.5%
実質公債費比率 -1.7% 将来負担比率は生じていない
※数値については、4・5ページに説明があります。



令和3年度一般会計歳入決算内訳



令和3年度一般会計歳出決算内訳



コロナ禍における暮らしの支援に

Q 令和3年度一般会計の決算で、財政調整基金に約10億円積み増しているが、市民のために活用すべきではないか。

A 財政調整基金の残高は、令和3年度の決算で約133億円であり、約10億円の増となった。地方創生臨時交付金も活用しながら生活支援、事業者支援、子育て支援、教育支援、感染防止対策など幅広い分野に対策を講じてきた。令和4年度においても第2子保育料の無償化、高齢者の住宅改修補助制度の拡充、原油高や物価高にも対応し市民や事業者の支援、6月の降ひょう被害支援にも財政調整基金を活用した。

前年度比で総務費減、民生費増はなぜか

Q 前年度比で総務費が大幅に減少し、民生費が大幅増加しているがなぜか。

A 総務費の減少は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策として、1人当たり10万円を給付した特別定額給付金給付事業の終了と新庁舎整備事業の完了による減額が主な要因である。また、民生費の増加は、18歳以下の児童1人につき10万円を支給した子育て世帯への臨時特別給付金支給事業と住民税非課税世帯に対して1世帯当たり10万円を給付した臨時特別給付金給付事業による増額が主な要因である。

減債基金の計画的な積み立てを

Q 減債基金の活用と計画的な積み立ての考えはどうか。

A 減債基金の令和3年度末現在高は、16億8,415万6,000円で、利子の積立が354万4,000円である。減債基金は、国債や地方債による債券、定期預金等で運用している。減債基金への積み立ては運用利子のみであるが、今後の財政見通しでは、地方債残高の増加に伴い公債費も増加する見込みなので、管理のありかたについて研究する。

歳入内訳

※網掛けは自主財源

区分	決算額
市税	19,245,724
地方譲与税	651,164
利子割交付金	11,539
配当割交付金	113,014
株式等譲渡所得割交付金	134,053
法人事業税交付金	226,720
地方消費税交付金	3,224,436
ゴルフ場利用税交付金	42,156

(単位：千円)

区分	決算額
環境性能割交付金	86,907
地方特例交付金	351,816
地方交付税	7,620,368
交通安全対策特別交付金	22,420
分担金及び負担金	1,011,384
使用料及び手数料	363,336
国庫支出金	14,097,251
県支出金	3,769,598

歳出内訳

(単位：千円)

区分	決算額
議会費	286,981
総務費	6,632,091
民生費	25,059,089
衛生費	4,336,348
労働費	88,161
農林水産業費	816,032

区分	決算額
商工費	1,574,537
土木費	5,661,183
消防費	2,148,892
教育費	4,937,186
公債費	2,988,134
合計	54,528,635

9月定例会 (9/1~9/27...27日間)

[本会議]		
1日	議案説明	6日 議案質疑
20日・21日・22日	一般質問	
27日	採決	
[委員会]		
6日	第2次深谷市総合計画後期基本計画策定特別委員会	
8日	産業建設委員会	
9日	総務委員会	
12日	福祉文教委員会	
13日・14日	決算特別委員会	